

笑顔はじける さわやか妻二プロジェクト

校長挨拶

本校は、明治42年に創設されてから今年で創立115年目を迎える歴史ある学校です。創立以来、長く女子校として歩んできましたが、平成5年度から男女共学となり、新たな伝統を築きながら、さらに魅力ある学校として進化しているところです。

「自主・慈愛・責任」の校訓のもと、知・徳・体のバランスの備った、そしてグローバルな視点からものごとを判断でき、やがて地域の核となれる人材の育成を目指しています。そのため、主体的で協働的な学習はもちろん、国際理解教育を積極的に推進するとともに、部活動や生徒会活動及びボランティア活動等、様々な活動ができる環境を整えています。

「笑顔はじける さわやか妻二」のキャッチフレーズのもと、今後も地域に愛され、中学生のあこがれとなる学校であり続けます。

校長 島根 千春



組織目標 (目指す学校像)

文武両道を目指して、知・徳・体のバランスの整った人材を育成する。
国際理解教育を推進し、グローバル化に対応できる現代的な視野を育むと同時に、地域の核となる人間性豊かなたくましい人材を養成する。

妻二とは

本校は、光明寺住職三浦空成師により、明治36年(1903年)私塾「女子文芸会」として開設され、明治42年(1909年)に私立「女子綱文学校」に改組されました。その後、幾度かの改組を重ね、昭和24年(1949年)茨城県立下妻第二高等学校となりました。平成5年(1993年)に男女共学推進指定校となり、115年の歴史を重ねています。

本校は、古き良き伝統の上に男女共学校としての新たな伝統を確立しつつあります。近年、大学進学実績が飛躍的に伸び、また同時に部活動にも7割を超える生徒が加入して、関東・全国大会への出場等、おおきな成果をあげています。また、オーストラリア語学研修(希望者)など、国際理解教育に力を注いでいます。課外授業の充実、スクールバスの運行など、学習環境も整っています。

本校は、部活動や学校行事等で心と体を鍛え、感性を磨き、学習活動で新たな自分を発見できる、皆さんひとりひとりの自己実現を可能にする学校です。文武両道を目指す意欲的な「君」を待っています。

